

## 使用上のご注意

### 置き場所について

- 本機やCD等を次のような場所には置かないでください。
- 磁石やスピーカーのすぐそばなど、磁気を帯びたところ
- テレビの近く

### 取り扱いについて

- CDふたを開けたまま放置しないでください。内部にゴミやはこりが入り、故障の原因になることがあります。
- 本機のスピーカーには強力な磁石を使っていますので、次のようなものは本機のそばに置かないでください。
  - 時計
  - クレジットカードなどの磁気カード
  - カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ

### CD-R/CD-RWについて

- 本機は、CD-DAフォーマット\*で記録されたCD-R(レコーダブル)とCD-RW(リライタブル)ディスクを再生することができます。ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。
- \* CD-DAは、Compact Disc Digital Audioの略で、一般オーディオCDに使用されている、音楽収録用の規格です。

### 著作権保護技術付音楽ディスクについて

- 本機は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本機で再生できない場合があります。

### DualDiscについて

- DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。尚、この音楽専用面はコンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本製品での再生は保証致しません。

### CDの取り扱いかた

- 文字の書かれていらない面(再生面)に触れないように持ちます。
- 紙やシールなどを貼ったり、傷つけたりしないでください。



- 長時間再生しないときは、ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねて置いたり、なまめに立てかけておくとその原因になります。
- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星形、ハート形、カード型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

### CDのお手入れのしかた

- 指紋やほこりによるCDの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方向へ軽く拭きます。



- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、CDを傷めることができますので、使わないでください。

## 故障かな?と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。ご不明な点があるときは、右下に記載されているソニーの相談窓口にご相談ください。

### 共通

#### 電源が入らない。

- 電源コードをAC IN端子とコンセントにしっかりと差し込む。
- 乾電池を正しく入れる。
- 乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。
- テレビの近くでAM放送を受信するとき、AM放送に雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でFM放送を聞くとき、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。

#### 音が出ない。

- 音量を調節する。
- ヘッドホンを(ヘッドホン)端子から抜く。

#### 雑音が入る。

- 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している→携帯電話などを本機から離して使用する。

### CD部

#### 再生が始まらない。

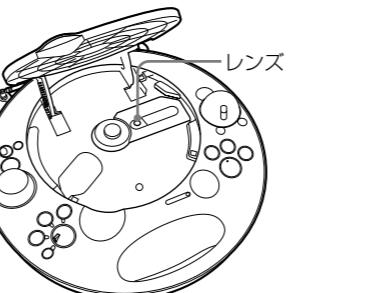
- CDが入っているのに「-」が表示される。

- CDが裏返し→文字のある面を上にする。
- CDの汚れがひどい→クリーニングする。

- レンズに露(水滴)がついている→CDを取り出してCDふたを開けたまま1時間くらい置く。
- ファイナライズ処理(通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理)をされていないCD-R/CD-RWディスクは再生できません。

- CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。
- CD-R/CD-RWに何も録音されていない。

- 乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。



#### 音がとぶ。

- 音量を下げる。
- CDの汚れがひどい→クリーニングする。
- 振動のない場所に置く。
- CDに傷がある→CDを取り換える。
- CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって、再生された音がとんだり、雑音が入ることがあります。

### ラジオ部

#### FM受信時ステレオにならない。

- ステレオ放送のときのみステレオで聞くことができます。

## 主な仕様

### CDプレーヤー部

型式	コンパクティスクエジタ ルオーディオシステム	ソニーニュー スーパー	ソニー
チャンネル数	2チャンネル	R14P	アルカリ LR14
ワウ・フッター	測定限界以下(JEITA*)	約35時間	約55時間
周波数特性	20Hz - 20,000Hz +0.021/-0.1dB (JEITA)		
CD再生時**		約3時間	約14時間 (JEITA)

### ラジオ部

受信周波数	FM: 76MHz - 90MHz AM: 530kHz - 1,710kHz	ロップアンテナ	最大外形寸法
アンテナ	FM: ロップアンテナ AM: フェライトバーアンテナ内蔵		約271mm × 122mm × 271mm (幅 × 高さ × 奥行き) (最大突起部含む)(JEITA)

### 共通部

スピーカー	フルレンジ: 5cm、 コーン型8Ω、2個	質量	本体: 約1.8kg
入力端子	ステレオミニジャック1個	付属品	ご使用時 約2.2kg (乾電池、CD含む)
出力端子	ヘッドホン(ステレオミニジャック)1個		電源コード(1)*、取扱説明書、保証書(1)、安全のために(1)、ソニーご相談窓口のご案内(1)
	負荷インピーダンス 16Ω - 32Ω		* 付属の電源コードセットは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。
実用最大出力	1.0W + 1.0W (JEITA/8Ω)		本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。
電源	本体用: 家庭用電源 (AC100V 50/60Hz)		
	単2形乾電池6個使用 (DC 9V)		
消費電力	8W		

**SONY®**

## パソコンオーディオシステム

### 取扱説明書・保証書

#### ZS-E5

お買い上げいただきありがとうございます。

#### 警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。  
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

© 2009 Sony Corporation Printed in China

### 保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

### アフターサービス

#### 調子が悪いときはまずチェックを

- この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

#### それでも具合の悪いときは

- お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

#### 部品の保有期間について

- 当社ではパソコンオーディオシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

品名 パソナルオーディオシステム

型名 ZS-E5

保証書 T04-1001A-5

ここに保証書があります

Complete the film by inserting the warranty at this position.

在此處插入保證書完成菲林。

在此位置插入保证书以完成胶片。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。  
<http://www.sony.co.jp/support>

使い方相談窓口	フリーダイヤル……………0120-333-020 携帯電話・PHS・一部のIP電話…0466-31-2511
修理相談窓口	フリーダイヤル……………0120-222-330 携帯電話・PHS・一部のIP電話…0466-31-2531

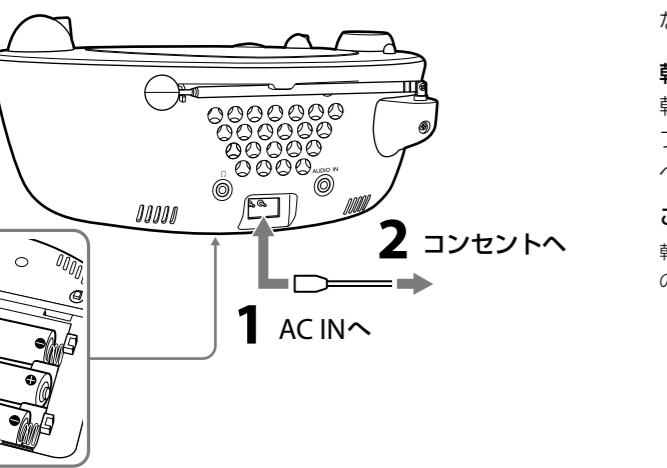
左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に  
「304」「#」を押してください。  
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。  
FAX (共通) 0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

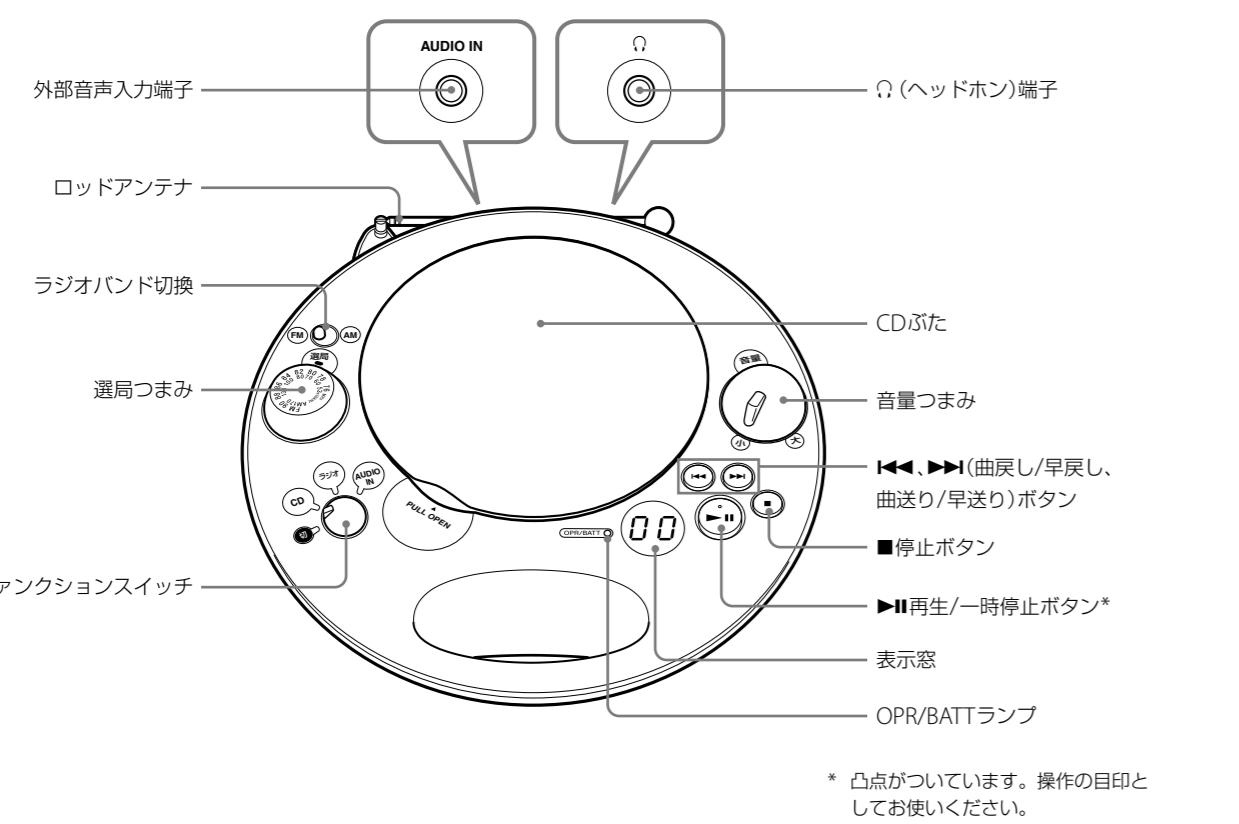
## 電源を準備する

### 電源コードを接続する

本機のAC IN端子に差し込んだあと、壁のコンセントへ差し込んでください。



### 各部のなまえ

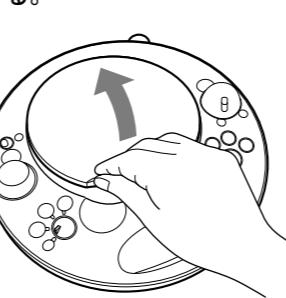


### ちょっと一言

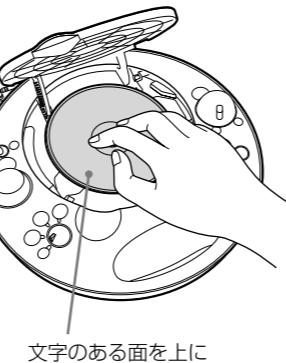
ヘッドホンで聞くときは、ヘッドホンをヘッドホン端子につないでください。

## CDを聞く

### 1 CDぶたを開ける。



### 2 CDを入れる。



### 3 CDぶたを閉める。



### 4 ファンクションスイッチを「CD」にする。



### 5 ▶再生ボタンを押す。



## ラジオを聞く

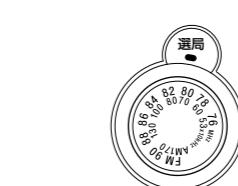
### 1 ファンクションスイッチを「ラジオ」にする。



### 2 「FM」または「AM」を選ぶ。



### 3 選局つまみを回し、聞きたい局に合わせる。



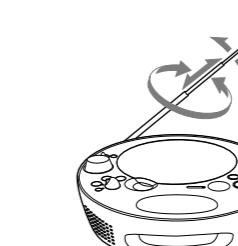
FMステレオ放送の雑音が多いときは自動的にモノラルになります。

### こんなときは 押すボタン／スイッチ

音量を調節する  
音量つまみを回す。  
電源を切る  
ファンクションスイッチを「切」にする。

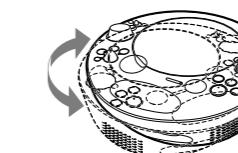
### 受信状態をよくする FM放送のとき

ロッドアンテナを伸ばし、向きを変える。



### AM放送のとき

本体を最も受信状態の良い方向へ向ける。



### ちょっと一言

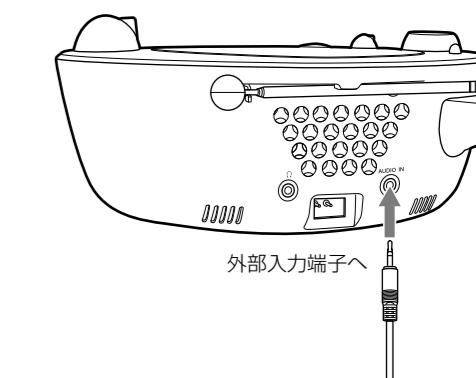
• 本機では、FMステレオ放送のみステレオで聞くことができます。AMのステレオ放送はモノラルになります。

## 外部機器をつないで聞く

別売りのオーディオ機器などを本機につないで、本機のスピーカーで音声を聞くことができます。

### 1 別売りの機器を本機後面の外部入力端子につなぐ。

別売りの音声接続コード(ステレオミニプラグ)を使って、別売りの機器の音声出力端子につなぎます。



### 2 ファンクションスイッチを「AUDIO IN」にする。



### 3 つないだ機器を再生する。

本機のスピーカーから音声が outputされます。  
再生について詳しくは、つないだ機器の取扱説明書をご覧ください。

### こんなときは 押すボタン／スイッチ

音量を調節する  
音量つまみを回す。  
電源を切る  
ファンクションスイッチを「切」にする。